



株式会社 **リロ・ホールディング**

- 営業収益、経常利益、当期純利益において過去最高を更新
- 全セグメントにおいて過去最高益を記録

(百万円未満切捨)

	07/3期 実績	06/3期 実績	前年比	07/3期 計画	計画比
営業収益	69,042	55,131	+25.2%	69,000	+0.1%
営業利益	3,301	2,456	+34.4%	2,900	+13.9%
経常利益	3,441	2,558	+34.5%	3,000	+14.7%
当期純利益	1,755	1,371	+28.0%	1,580	+11.1%
EPS	116円	89円	+30.7%	105円	+10.9%
年間配当金	28円	20円	+40.0%	25円	+12.0%
ROE(%)	17.6%	16.1%	—	16.1%	—

3

セグメント別業績

(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	07/3期	06/3期	増減	07/3期	06/3期	増減
リロケーション	58,133	45,731	+12,401	1,732	1,328	+404
福利厚生代行	7,547	7,440	+107	1,650	1,456	+193
リゾート	2,624	1,449	+1,175	672	424	+248
その他	737	509	+228	113	36	+77
連結消去	—	—	—	▲867	▲789	▲77
連結	69,042	55,131	+13,911	3,301	2,456	+845

- 全セグメントで増収増益を達成
- コア事業だけでなくリゾート事業、金融保険事業(その他)も大幅に伸張
- 経営基盤強化の推進により費用増加(連結消去)

4

連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

	06/3期	07/3期		06/3期	07/3期
流動資産	10,612	12,943	流動負債	7,489	10,909
現金および預金	2,913	2,877	営業未払金	1,664	1,606
営業未収入金	2,728	3,011	短期借入	0	1,778
棚卸資産	560	1,606	長期借入(1年以内)	5	30
前渡金	3,225	3,595	前受金	4,226	4,878
前払費用	549	442	未払法人税等	658	1,019
繰延税金資産	131	420	その他	936	1,598
その他	506	992	固定負債	3,708	3,596
固定資産	9,823	12,325	長期借入	88	33
有形固定資産	2,728	3,703	預り金	3,452	3,436
建物	1,232	2,083	その他	168	126
土地	653	711	負債合計	11,197	14,506
その他	843	909	純資産	9,238	10,763
無形固定資産	1,053	1,325	資本金	2,481	2,532
投資その他の資産	6,041	7,297	資本剰余金	2,674	2,725
投資有価証券	1,365	1,512	利益剰余金	5,046	6,464
営業保証金	3,369	4,645	自己株式	▲ 1	▲ 1
繰延税金資産	427	233	評価換算差額等	▲ 1,001	▲ 998
その他	880	907	少数株主持分	38	41
資産合計	20,436	25,269	負債純資産合計	20,436	25,269

北米での販売用不動産取得による増加

リゾート施設取得による増加

リラiances管理戸数増加による敷金増加

運転資金借入(立替家賃等)

* 06/3期の純資産は、07/3期の基準に合わせ数字を組み替えて記載しております。

連結キャッシュフロー

(百万円未満切捨)

	06/3期	07/3期
営業キャッシュフロー	1,843	954
税金等調整前当期純利益	1,925	3,198
減価償却費	423	468
営業保証金の増減額	▲ 1,120	▲ 1,275
法人税等の支払額	▲ 1,010	▲ 1,296
その他	1,625	▲ 141
投資キャッシュフロー	▲ 1,376	▲ 2,531
有形固定資産取得による支出	▲ 834	▲ 1,736
ソフトウェア取得による支出	▲ 344	▲ 538
関係会社株式の取得による支出	▲ 361	▲ 410
投資有価証券の売却による収入	10	215
その他	153	▲ 62
財務キャッシュフロー	▲ 191	1,547
借入による収入	0	1,846
返済による支出	▲ 100	▲ 99
株式の発行による収入	59	101
配当金の支払額	▲ 150	▲ 301

セグメント別概況

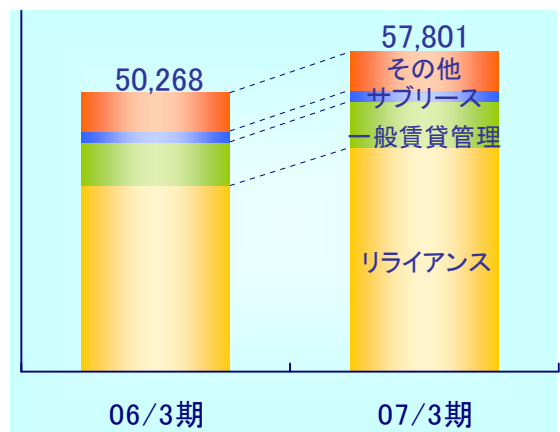
リロケーション事業セグメント



<管理戸数>

(戸数)

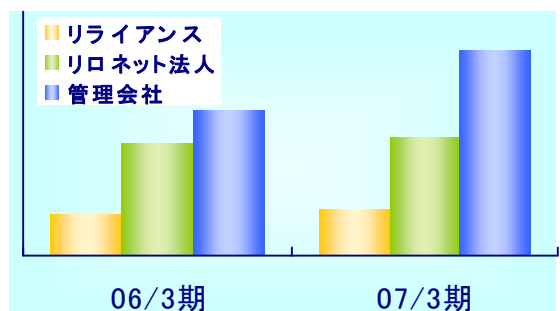
	07/3期	06/3期	増減
リライアンス	40,388	33,308	+7,080
一般賃貸管理	8,580	8,286	+294
サブリース	1,671	1,707	▲36
その他(管理人派遣等)	7,162	6,967	+195
合計	57,801	50,268	+7,533



<関連指標>

(社数)

	07/3期	06/3期	増減
リライアンス社数	114	101	+13
リロネット(法人)	289	277	+12
リロネット(管理会社)	508	354	+154

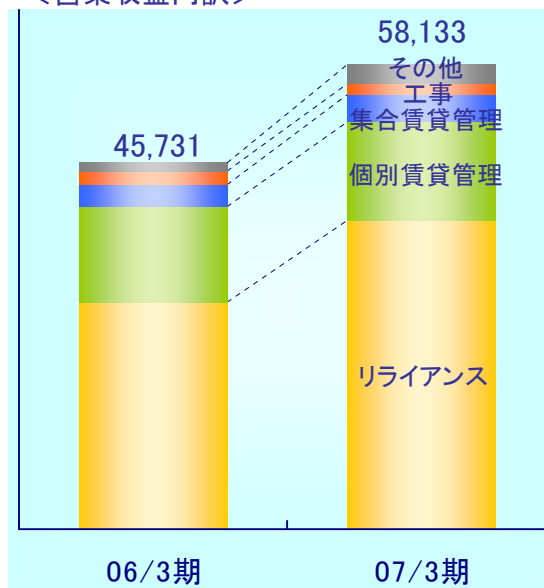


○セグメント実績

(百万円未満切捨)

	07/3期	06/3期	増減
営業収益	58,133	45,731	+12,401
リライアンス	38,641	28,318	+10,323
個別賃貸管理	12,478	12,108	+369
集合賃貸管理	3,157	2,620	+536
工事	1,441	1,789	▲347
その他(消去含む)	2,414	894	+1,519
営業利益	1,732	1,328	+404

<営業収益内訳>



総括と課題

- 企業の人材採用増加による寮・社宅需要が高い水準で推移、これを背景に物件仲介、集合賃貸管理事業が躍進
- リライアンスにおいては管理戸数の増加とともに原価低減が貢献
- 緊急工事・海外赴任アウトソーシングの新規受託は増加、家賃立替サービスも予定通りスタート
- 課題として
 - ◆ 旺盛な企業の寮・社宅需要に対応した物件仕入力の強化
 - ◆ 社宅管理代行サービスの価格競争化に対抗すべく、リライアンスおよびリロネットの営業力、商品力の強化

○セグメント実績

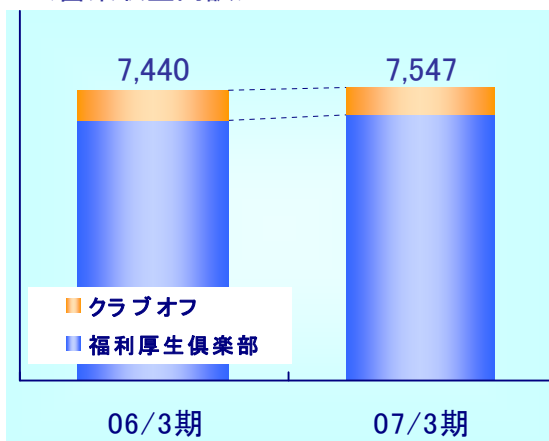
(百万円未満切捨)

	07/3期	06/3期	増減
営業収益	7,547	7,440	+107
福利厚生倶楽部	6,818	6,653	+165
クラブオフ	728	787	▲58
営業利益	1,650	1,456	+193

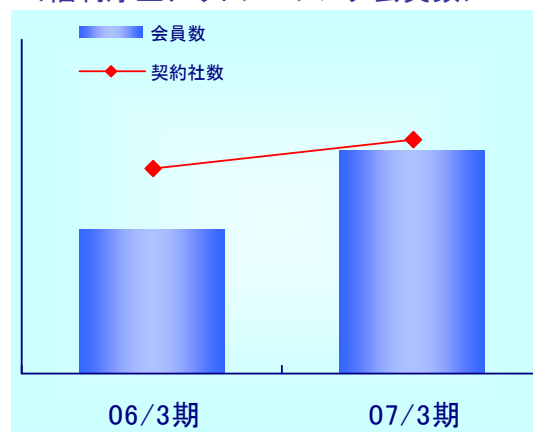
<関連指標>

	07/3期	06/3期	増減
契約社数	6,405	6,233	+172
会員数	147万人	123万人	+24万人
内 ライトプラン	44万人	28万人	+16万人

<営業収益内訳>



<福利厚生アウトソーシング会員数>



11

総括と課題

- 大口案件のプラン変更による影響をカバーできずクラブオフ事業において減収減益となるも、福利厚生倶楽部事業が堅調に推移し、セグメントとしては増収増益、過去最高益を更新
- 企業における福利厚生制度の拡充傾向がある一方で、大企業案件においては価格競争の動きも進行
- 課題として
 - ◆ 業務統合等による業務の効率化、コスト削減を強化
 - ◆ 会費、KB、利用料等、ビジネスモデルの適応性を拡張

12

○セグメント実績

(百万円未満切捨)

	07/3期	06/3期	増減
営業収益	2,624	1,449	+1,175
営業利益	672	424	+248

<関連指標>

	07/3期	06/3期	増減
施設数	8	5	+3
会員数	2,285	1,432	+853



総括と課題

- 拠点開業(3ヶ所)が奏功し、年間の新規会員数は前期比60%増加
- 利用価値向上に伴う単価上昇も寄与し、大幅な増収増益を達成
- 課題として
 - ◆ 収容数増大による集客コストの削減、営業効率向上
 - ◆ 競合参入に抗する明確な差別化

13

○セグメント実績

(百万円未満切捨)

	07/3期	06/3期	増減
営業収益	737	509	+228
営業利益	113	36	+77

総括と課題

- グループ連携強化により事業基盤整備が進行、業績伸張
- リロ補償の増加および将来の展開を睨み再保険会社(Relo Global Reinsurance, Inc.)を設立、実質初年度から業績貢献
- 課題として
 - ◆ 少額短期保険事業の早期認可取得

14

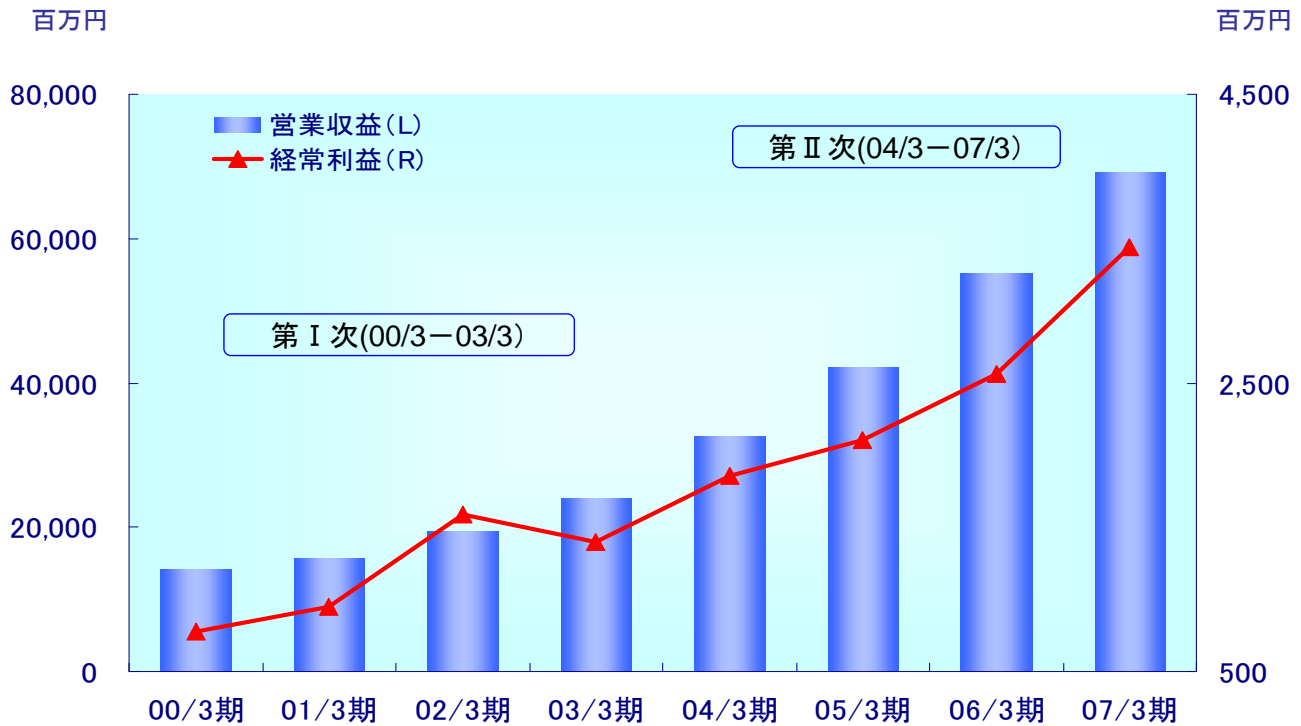
総 括

- 業績においては計画を超過し、過去最高を記録
- 各事業セグメントとも堅調に業績を伸張
- 企業福利厚生アウトソーシング市場は良好な環境が続いている一方で、競合との価格競争が進行
- 業務の効率化等と並行し事業モデルを進化させ、多様な顧客ニーズへの適応性を高める
- JISQ、J-SOXなど経営基盤強化への取組は計画通り進行



中期経営計画 (第Ⅲ次オリンピック作戦)

オリンピック作戦レビュー



オリンピック作戦レビュー

	第 I 次オリンピック期 00/3期~03/3期	第 II 次オリンピック期 04/3期~07/3期
営業収益 経常利益	241億円 14億円	690億円 34億円
フェーズコンセプト	上場後の 基礎的体制固め	アウトソーサーとしての 地位確立
事業ポートフォリオ	リロケーション事業の 再構築 福利厚生代行業業の 成長加速 新規事業の創出と事業化準備 ①クラブオフ事業 ②テレマーケティング事業 ③リゾート事業	企業福利厚生アウトソーサー としての機能拡大と強化 (総合アウトソーサー) 新規事業の創出・事業化 ①リゾート事業 ②海外赴任者支援事業 ③住居維持管理事業 ④社宅ファンド事業
経営システム	ホールディング・ 連邦体制への移行	経営管理システムの整備 個人情報管理体制の構築
活用リソース	内部	内部

第Ⅱ次オリンピック作戦の実績

ー事業ポートフォリオー

- コア事業分野における新しい事業、サービスの創出
将来を展望したコア事業の展開 ⇒ 単品から複合・総合へ
リロケーション事業分野：
リライアンス、住まいるレンジャー、海外赴任支援
福利厚生代行サービス事業分野：Club Off
- 新規事業分野への取り組み タイムシェアリゾート
- 非効率事業分野からの撤退 テレマーケティング、不動産ファンド

ー経営システムー

- 連邦経営オペレーションシステムの推進
業績管理(週次、月次、Proj)、マトリクス組織による運営管理手法
事業会社のJISQ取得

第Ⅲ次オリンピック作戦に向けた現状認識

- “福利厚生制度の問題解決者”として転勤留守宅管理にはじまり、福利厚生代行、転勤支援、借上社宅管理など企業と勤労者に向け、不便・不安・不満の解決を軸に事業を拡充
- 各分野における競合の新規参入により競争激化するも、事業拡充とともに事業の分社化による活力と機動力を活かした展開を推進
- 顧客である企業においては団塊世代の退職、若年労働層の減少(少子化)と採用激化、人材流動化などにより「福利厚生政策」の戦略的な見直しが重要な経営課題として浮上

※福利厚生に関するニーズの質的变化期にあり、事業拡大の好機

※リログループとして個別領域では個々の強みを活かしているも、グループのリソースの活用をはじめ、グループの総力化には改善の余地

※企業も単分野での政策ではなく、福利厚生全体としての総合的な改革を要望

<重要課題>

- コア事業(リロケーション、福利厚生)分野における革新
既存顧客への深耕
福利厚生の变化、アウトソーシングへのニーズに適應した
新サービスおよび事業の創出
事業ポートフォリオの見直し
- 有望市場—シニア、海外赴任支援—の更なる展開
シニア事業 モデル進化、周辺ビジネスの育成
海外赴任支援事業 アジア圏でのサポート網の確立
- 次なるコア事業の育成
- 連邦経営、分社化体制の最適化—信頼性と事業有効性—
内部統制等の社会的要請への適應と連邦体制の革新

「企業福利厚生制度の問題解決者」

から

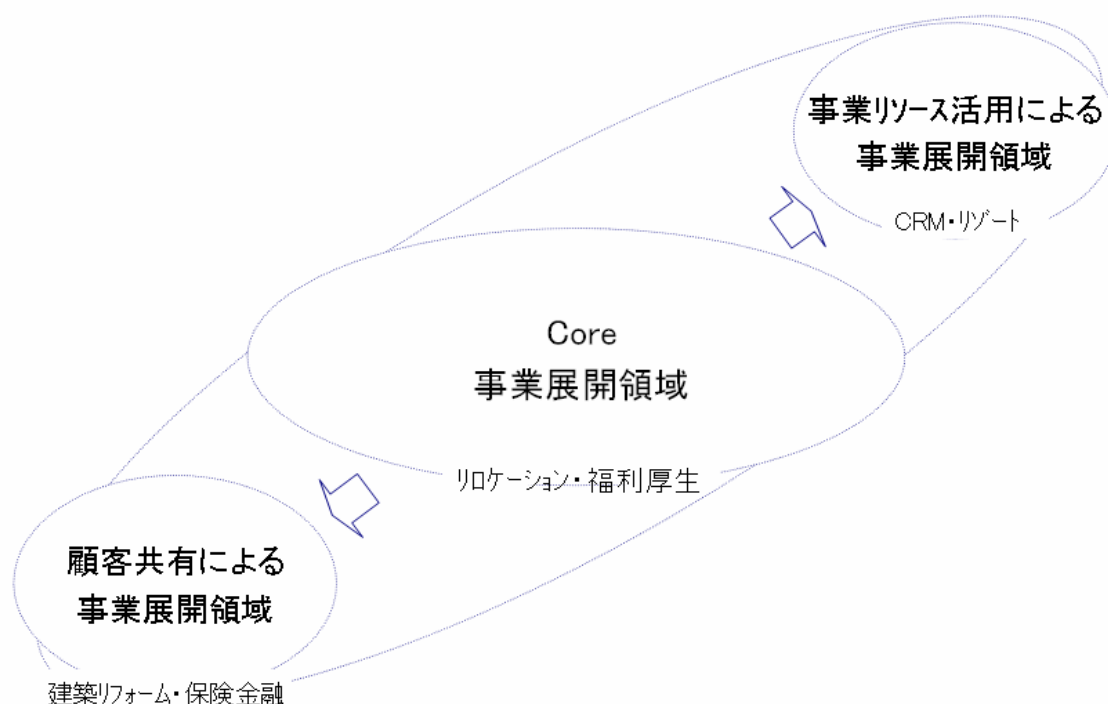
『世界規模で展開する
生活総合支援サービス産業の創出』へ

企業福利厚生分野におけるアウトソーシングサービスを原点として、
安心と快適な生活の実現をサポートする

<基本方針>

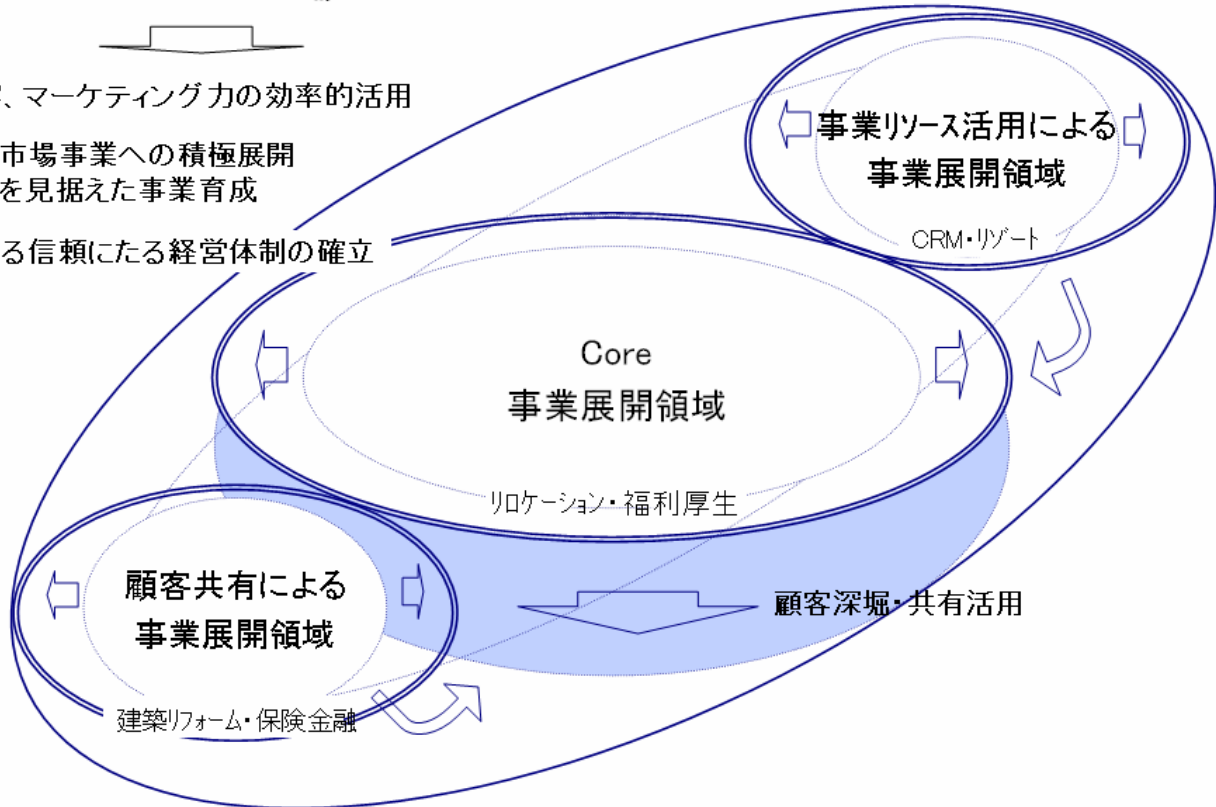
総合福利厚生アウトソーサーとして、顧客と事業の拡充をはかることで、その地位をより確かなものとするとともに、グループ内リソースを活かし未開拓市場への進出を推進することにより、『世界規模で展開する生活総合支援サービス産業』の骨格を構築

- 顧客、マーケティング力の効率的活用を徹底
 - ◆ 法人顧客の共有化によるマーケティング活動の効率化
 - ◆ 管理住宅(リライアンス、転留守等)、全国管理会社(リロネット)、優良勤労者(福利厚生)などを顧客とする更なる収益機会の創出
- 有望市場事業への積極展開
- 将来を見据えた事業育成
 - ◆ 分社化体制の再評価により選択と集中、育成の徹底
- 更なる信頼にたる経営体制の確立



グループ内リソースの徹底活用

顧客、マーケティング力の効率的活用
 有望市場事業への積極展開
 将来を見据えた事業育成
 更なる信頼にたる経営体制の確立



	第Ⅰ次オリンピック期 00/3期～03/3期	第Ⅱ次オリンピック期 04/3期～07/3期	第Ⅲ次オリンピック期 08/3期～11/3期
営業収益 経常利益	241億円 14億円	690億円 34億円	1,200億円 91億円
フェーズコンセプト	上場後の 基礎的体制固め	アウトソーサーとしての 地位確立	アウトソーサーとしての さらなる深堀 と リソース活用による 多角化展開
事業ポートフォリオ	リロケーション事業の 再構築 福利厚生代行事業の 成長加速 新規事業の創出と事業化準備 ①クラブオフ事業 ②テレマーケティング事業 ③リゾート事業	企業福利厚生アウトソーサー としての機能拡大と強化 (総合アウトソーサー) 新規事業の創出・事業化 ①リゾート事業 ②海外赴任者支援事業 ③住居維持管理事業 ④社宅ファンド事業	リソースを活かした 新たな収益ストック開拓 成長事業への投資促進 新規事業の離陸推進 有望市場への参入
経営システム	ホールディング・ 連邦体制への移行	経営管理システムの整備 個人情報管理体制の構築	経営管理体制の強化 連邦経営体制の確立 人材採用・育成への注力
活用リソース	内部	内部	内部・外部の活用

リロケーション事業セグメント

(国内リロケーション・海外リロケーション・建築リフォーム)

<リロケーション事業>

(戦略)

- 企業の住宅政策にかかる全てのニーズに対しソリューションをOne Stopで提供し、最強唯一の住宅OSの地位強化(B2B分野での最強化)
- B2Bでのノウハウ、リソースを活かしB2C市場での新サービスの展開

(施策)

- 社有社宅管理代行、借上社宅代行サービス、社宅活用コンサルなど現状未着手のサービスを展開しソリューションを拡充
- サービスフィーの付加価値化(従量化、短期賃貸など)
- リネット業者、管理物件入居者等からの新収益開発(システム、セキュリティ、物販etc)
- 中京地区での事業展開

<海外リロケーション事業>

(戦略)

- 海外赴任総合支援サービスとしての地位の確立
ー真のリロケーションカンパニーとしての社会的認知ー

(施策)

- 中規模以下企業1,200社をターゲットに収益基盤の構築
- 北米での連携モデルの強化と、それに続く有望エリアでのオペレーションの稼動

<建築リフォーム事業>

(戦略と施策)

- 住まいるレンジャーによる収益安定化と事業サイズの適正化

福利厚生代行サービス事業セグメント

(戦略)

- 企業と従業員、顧客のロイヤルティ創造ビジネスへの再構築と進化

(施策)

- 健康、教育、育児など企業・従業員ニーズへの適合したサービス拡充
- 株主優待代行、ポイント利用支援など新サービスの展開
- 会員、提携先リソースを活かした収益開発(Club in Club、アレンジメントetc)
- オペレーションシステムの共有による効率化
- ガイドブック、コールセンターなど会員向け媒体、設備の見直し

リゾート事業セグメント

(戦略)

- 仕入環境変化、販売効率等を反映したビジネスモデルの革新による
Uppermiddleマーケットでの地位確立

(施策)

- ペット、StayResort等の特性を活かし収益源の多様化、ポイントの多様化
- ショールーム、現地集客、代理店など新しい販売手法の開発
- “日本まるごとリゾート“から海外展望へ

その他事業セグメント

(戦略)

- 保険代理店モデルからグループ内顧客リソースに対する金融保険商品の企画開発販売モデルへの転換
- 少額短期保険の戦略的商品として育成強化

(施策)

- リロ補償、キャプティブなどの活用による収益の拡大
- 大手保険会社との連携によるリソースの効率的活用

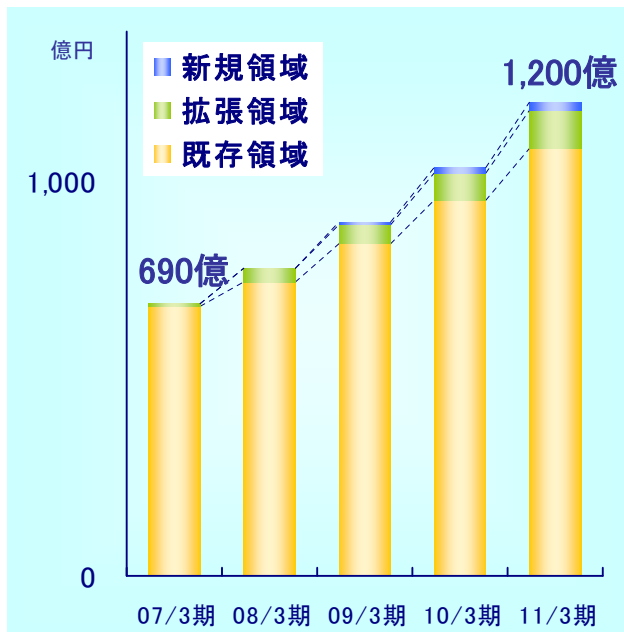
(戦略)

- 上場企業として適格な経営体制の確立とベンチャー企業としての活力ある風土・文化の醸成

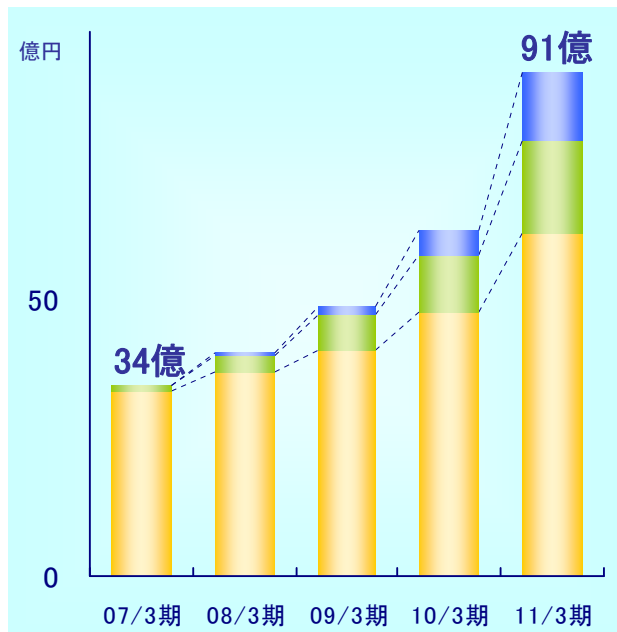
(施策)

- J-SOX適応、決算早期化、JISQ準拠等の為のビジネスプロセス最適化
- 人材採用、育成の強化
 - ◆ 総力を挙げての人材確保
 - ◆ Relo value(価値観)を共有し実現できる人材の育成強化
- 事業会社の独自施策とグループ共通施策の推進

<営業収益目標>



<経常利益目標>



	07/3期 実績	08/3期 計画	11/3期 目標
営業収益	690億円	780億円	1,200億円
リロケーション	581億円	655億円	1,000億円
福利厚生代行	75億円	79億円	110億円
リゾート	26億円	36億円	70億円
その他	7億円	10億円	20億円
経常利益	34億円	40億円	91億円
当期純利益	17億円	21億円	50億円
EPS	116円	139円	331円

* EPSは現在の発行済株式数で算出

2008年3月期 業績計画

2008年3月期 連結業績計画



(百万円未満切捨)

	08/3期 計画	07/3期 実績	増減	前年比
営業収益	78,000	69,042	+8,957	+13.0%
営業利益	3,950	3,301	+648	+19.7%
経常利益	4,000	3,441	+558	+16.2%
当期純利益	2,100	1,755	+344	+19.6%
EPS	139円	116円	+23円	+19.3%
年間配当金	34円	28円	+6円	+21.4%
ROE(%)	18.2%	17.6%	—	—

* EPSは現在の発行済株式数で算出

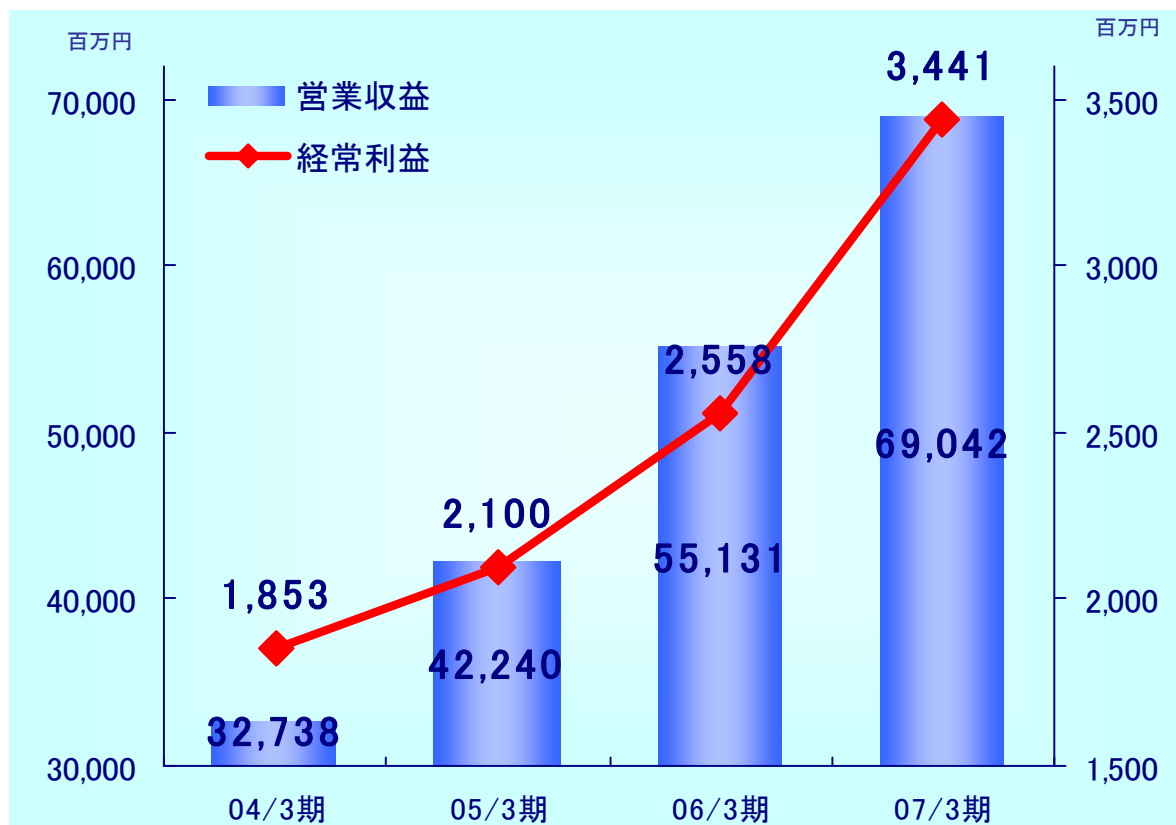
(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	08/3期 計画	07/3期 実績	増減	08/3期 計画	07/3期 実績	増減
リロケーション	65,500	58,133	+7,366	1,950	1,732	+217
福利厚生代行	7,900	7,547	+352	1,850	1,650	+199
リゾート	3,600	2,624	+975	900	672	+227
その他	1,000	737	+262	200	113	+86
連結消去	—	—	—	▲950	▲867	▲82
連結	78,000	69,042	+8,957	3,950	3,301	+648

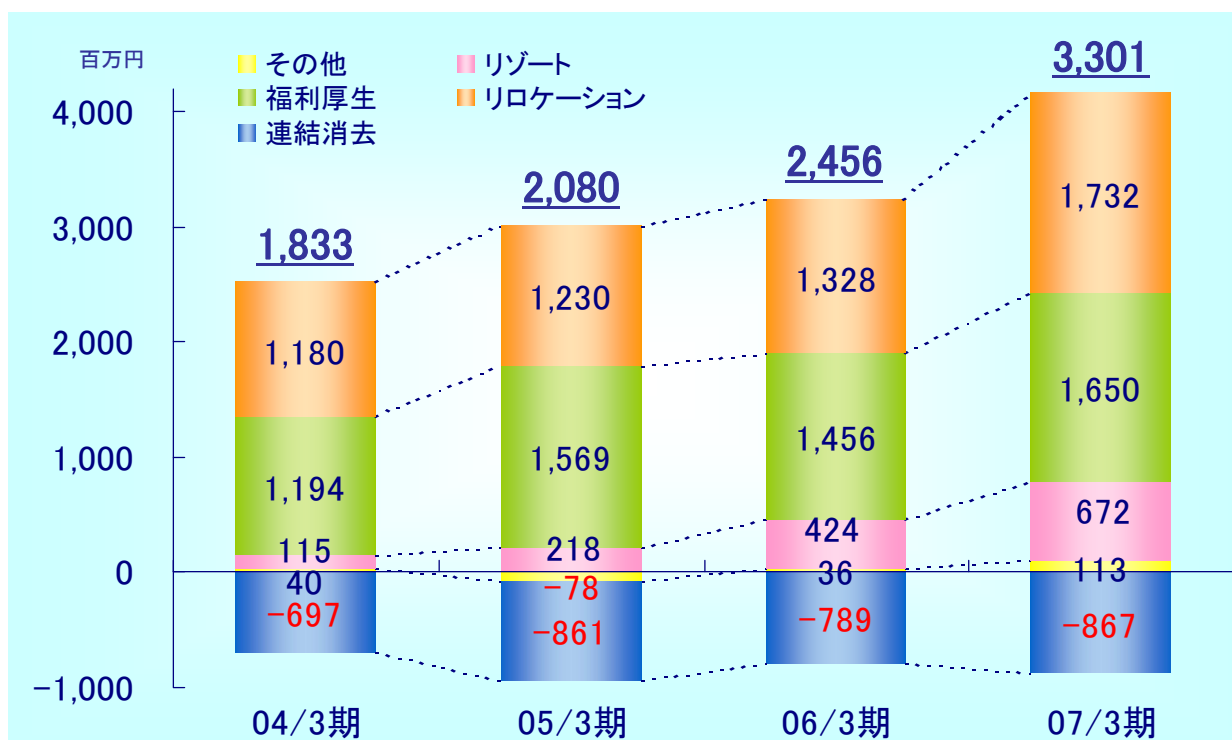


参考資料

連結業績推移



セグメント別業績推移



* 下線数字は連結営業利益



取締役：門田 康

企画IRグループ：北村 真二

TEL: 03-5312-8704 FAX:03-3225-9714

E-Mail: ir@relo.jp

URL : <http://www.relo.jp/>

本資料は、2007年3月期(第40期)決算に関する情報提供を目的としており、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

また、本資料は2007年3月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。